



Cisco Unified Presence の管理ページでの コンテンツベースの SIP メッセージ ルーティ ングの設定

- 「メソッドベースまたはイベントベースのルートの設定」(P.18-1)
- 「メソッド/イベント ルートの検索」(P.18-2)
- 「メソッド/イベント ルートの削除」(P.18-3)

メソッドベースまたはイベントベースのルートの設定

メソッドベースまたはイベントベースのルーティングを使用して、コンテンツに応じて SIP メッセージをルーティングするように SIP プロキシ サーバを設定します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
メソッドベースまたはイベントベースのルートの設定	<p>a. [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [メソッド/イベント ルーティング (Method/Event Routing)] の順に選択します。</p> <p>b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</p>
メソッドベースまたはイベントベースのルートの更新	<p>a. 「メソッド/イベント ルートの検索」(P.18-2) の説明に従ってレコードを検索します。</p> <p>b. 必要に応じてレコードを編集します。</p>

ステップ 2 表 18-1 の説明に従って、メソッドベースまたはイベントベースのルートの設定値を入力します。

表 18-1 メソッド/イベント ルートの設定値

フィールド	説明
名前 (Name)	特定のメソッドベースまたはイベントベースのルートに関連付けられている名前を指定します。 最大文字数：128
説明 (Description)	特定のメソッド/イベント ルートの説明を指定します。 最大文字数：255
コンテンツ トークン (Content Token)	SIP メッセージのルーティングに使用するコンテンツ検索文字列を指定します。 PUBLISH や SUBSCRIBE などがその例です。 最大文字数：128
コンテンツ カテゴリ (Content Category)	メソッドベースまたはイベントベースのいずれかの [コンテンツ カテゴリ (Content Category)] を指定します。
接続先アドレス (Destination Address)	SIP メッセージが送信される着信先 (ネクスト ホップ) のドメイン名または IP アドレスを指定します。
接続先ポート (Destination Port)	着信先 (ネクスト ホップ) のポート番号を指定します。 デフォルト ポート：5060
プロトコル タイプ (Protocol Type)	SIP メッセージを転送する場合に使用するプロトコル タイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。 デフォルト タイプ：UDP

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

メソッド/イベント ルートの検索

ネットワークに複数のメソッド/イベントベースのルートが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のメソッド/イベントベースのルートを検索できます。

手順

- ステップ 1** [プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [メソッド/イベント ルーティング (Method/Event Routing)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#)に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。

- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。

ステップ 4 [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコードリストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

メソッド/イベント ルートの削除

手順

ステップ 1 メソッド/イベント ルートを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除するメソッド/イベント ルートを選択します。

ステップ 3 メソッド/イベント ルートを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> 該当するレコードをオンにします。 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。 [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

メソッド/イベント ルートが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

[「メソッド/イベント ルートの検索」 \(P.18-2\)](#)

